

監事監査報告書

令和4年4月21日

認定特定非営利活動法人 自然再生センター
理事長 松本 一郎 殿

監事 河野 美江



澤 アツ子



私たちは、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類に閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、報告書を確認し、また理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 活動（収支）計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、契約書も含め法人の収支状況及び財産状態を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業計画に沿って業務が執行されており、事業報告書の内容は事実であると認める。
- (3) 理事会は定期的開催されており理事の職務執行に関する不正の行為、または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (4) 組織のミッションである多様な事業の情報収集を行い、SDGsを実践する事業の新規展開の可能性を引き続き探ることを求める。
- (5) 特に今年度は、非営利組織評価センター（一社）より、「グッドガバナンス認証」を取得し今後も持続可能な経営努力を外部から認められたことは非営利組織としても社会的にも大きな信頼を得ることができた。そのことで今後も多様な主体との連携を期待する。
- (6) 引き続き自然環境の包括的再生を基盤にした、地域全体の次世代育成につながることを期待する。